

# 吉備国際大学による特別授業が行われました

平成27年2月17日（火）10:50~12:40

本校の高大連携事業として、吉備国際大学から先生をお招きして「日本の食料自給率と食料安全保障」と題した講義をしていただきました。講義では、日本の食料生産の現状や、輸入に頼るデメリットにも触れ、これから安全に食料を確保する必要性を話されました。



先生は、自給率と栄養の関係にも焦点を当て、日本よりも穀物自給率の高いバングラデシュを例に、自給率が高いからと言って必ずしも栄養バランスも良いとは限らないことを説明されました。また、食料の安全保障問題を考える際、農地の確保や、生産者の育成、技術の発展といった「自給力の向上」が重要であると生徒に伝えました。そして、「食」に対する国民一人ひとりの意識が大切であることを話されました。

## 生徒感想

- ・ 「食料の確保」に関してあまり関心を持っていなかったが、もしも輸入が止まった時の日本を想像すると怖くなった。とても勉強になりました。
- ・ 「食料自給率」についてよく分かりました。日本の食料自給率は低いと思いました。
- ・ 自給率が良いからといって栄養も十分に摂れているとは限らないことに驚きました。